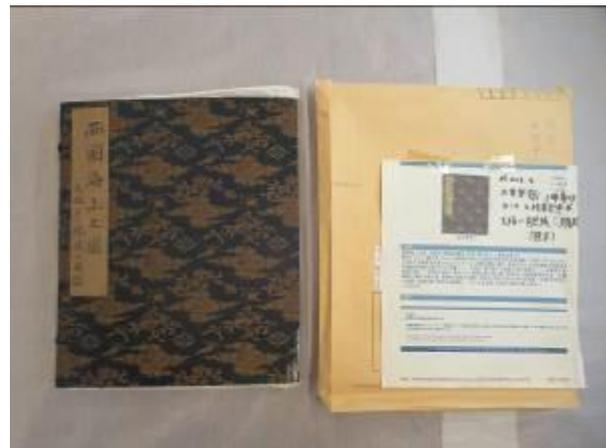
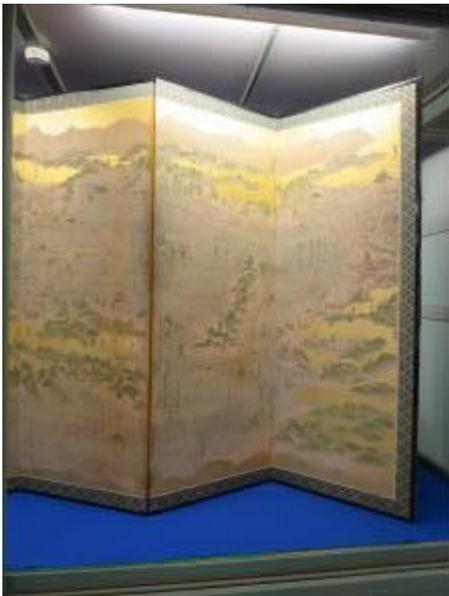


神戸大学海事博物館

海路の賑わい：西回り航路を中心とした近世・近代日本沿海航路の諸相

調査研究期間：平成30年11月19日（月）～令和1年5月31日（金）



調査研究の実施状況（絵巻、屏風を対象とした調査）

【調査研究の内容・目的】

- 神戸市の日本遺産「北前船寄港地・船主集落」として当館所蔵資料も一部認定された。改めて所蔵する近世近代航路に関わる資料、ことに絵図・古文書類を調査し、日本沿海航路の実態把握を目的とした。
- 所蔵品の悉皆調査、再整理を行う。資料を精査・検討し、博物館資料として海事史上に位置付けて、成果内容を当館年報や特別展、学術講演会などを通じて対外的に発信していく。
- 近世近代に活躍した西廻り航路の資料に重点を置き、日本沿海における船舶輸送の往時の様相を学術的に明らかにする。当館の航路絵図などを再評価するとともに、かつて日本の船舶輸送を支えた和船の実態を、模型や絵馬などさまざまな資料とあわせて紹介する企画展へと展開させ、昔も今も私たちの暮らしに、船舶や海運が密接に関わっている事を示していく。

1. 調査研究内容の詳細

【調査研究代表者】

■ 菊地 真（神戸大学海事博物館・専門員）

【実施計画】

■ 1カ年計画1年目

【主な調査研究対象など】

■ 博物館所蔵の和船航路に関わる資料（絵図、典籍）



調査研究の実施状況（絵巻等を専門家も交え調査検討）



調査研究の実施状況（絵巻等の調査、資料は小箱も活用して収蔵庫の棚に納めている。）

当館所蔵の近世・近代の日本沿海航路に関わる資料を対象とし、現況確認のうえ、主な資料を熟覧し記載内容を精査した。和船航路関係の既存文献との比較検討から、近世—近代の実際の航海や船舶についての貴重な資料群であるのが再確認できた。近世前半の手描き航路図は、各地の地誌的情報の伝播・共有を示しており、また近世後半に出版された航路図誌は数量も多く、内海航路の普及を裏付けている。今回の調査研究を受けて、成果の一部は、2019年度自主開催の企画展「和船の活躍した時代」において展示を行う。次年度以降も随時資料紹介を行い、前近代の日本の船・海に関する歴史文化、和船に関する知識を紹介する。このように当館の海洋教育において、過去の船・海・人の重要性を示すことで、暮らしに欠かせない海運の発達と現在・未来における意義が、広く理解されると期待できる。

2. 本調査研究成果を基に計画・実施可能な 「海の学び」に繋がる博物館活動案

- 博物館活動の形態：和船をテーマとした企画展、スポット展示、講演会
- 実施時期：令和1年7月～令和2年3月
- 実施場所：神戸大学海事博物館、神戸大学百年記念館

【実施内容】

- 「海路の賑わい」をテーマに、近世から近代という和船の廻船が活躍した時代を振り返るとともに、昔も今も人々の暮らしにおいて船舶や海運が密接にかかわっていることを再認識する場とし、「海の利用の重要性」といった海の学びの機会創出を目指す。
- いわゆる北前船が往来した西廻り航路を中心に据え、航路、船舶、寄港地をめぐる往時の状況を、当館所蔵資料を基に展示、紹介する。
 - ・弁財船などの廻船（模型、実物部材など）
 - ・沿海航路のようす（絵図類）
 - ・海に対する認識（絵馬、船額など）
 - ・北前船に関わる人、モノ（高田屋嘉兵衛など船主の紹介）
- 会期中、秋ごろに学術講演会を開催する。
講師：綿貫友子氏（神戸大学大学院経済学研究科）ほか、計2名を計画

【他の博物館・機関や地域社会との連携や取り組み内容】

- 兵庫県内や神戸市の関連機関との連携。
企画展の後援：神戸市教育委員会
他機関から展示実施の協力を得る：一般社団法人海洋会、福井県若狭歴史博物館、北前船日本遺産推進協議会、みなとの博物館ネットワークフォーラム（予定）
- 神戸市内の北前船関係の文化遺産について、展示で紹介し、博物館の講座などで取り上げていく。
- 神戸大学海事科学研究科の各種イベント、夏休みこども体験スクール（練習船深江丸の体験乗船ほか）や深江祭、オープンキャンパス、ホームカミングデイなど、大学公開の諸機会を通じ、博物館の宣伝と展示公開を進める。

【事業全体のまとめ】

当館の所蔵する航路絵図や典籍が、近世初頭から近代にいたる時期に広く渡り、海事史的観点から幅広く収集されてきたことが再確認できた。今回の調査および整理によって、今後の研究、展示などが従来以上に円滑に進められると考えられる。今後、個別の資料について詳しく検討することが課題である。絵図学、歴史地理学といった観点から、往時の航路や港湾について、知見を深めていきたい。

なお成果は、企画展等で順次公開し、前近代の日本の船・海に関する歴史文化、和船に関する知識を紹介することにより、昔も今も暮らしにおいて重要な海運について、市民の方に理解を深めて頂けると期待している。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 北前船日本遺産推進協議会	北前船に関する資料、情報提供
2. 神戸市教育委員会	北前船、兵庫津に関する資料、情報提供
3. 福井県若狭歴史博物館	北前船に関する資料提供
4.	
5.	

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. なし	
2.	
3.	
4.	
5.	

以上

神戸大学海事博物館

【自主事業】企画展「和船の活躍した時代」

開催期間：令和1年7月12日～令和2年3月30日

(調査研究成果を基に実施された「海の学び」に繋がる博物館活動)



展示状況 (博物館入り口の表示、絵図の展示)

■博物館活動の形態：和船をテーマとした企画展、スポット展示、講演会

■実施時期：令和1年7月12日～令和2年3月30日

■実施場所：神戸大学海事博物館

【実施内容】

■平成30年度「海の学び調査・研究サポート」の成果発表の一環として企画展を自主開催した。

■「海路の賑わい」をテーマに、近世から近代という和船の廻船が活躍した時代を振り返るとともに、昔も今も人々の暮らしにおいて船舶や海運が密接にかかわっていることを再認識する場とし、「海の利用の重要性」といった海の学びの機会創出を目指す。

■いわゆる北前船が往来した西廻り航路を中心に、今回調査した航路絵図を展示。

【他の博物館・機関や地域社会との連携や取り組み内容】

■兵庫県内や神戸市の関連機関との連携。

後援：神戸市教育委員会、協力：海洋会、福井県若狭歴史博物館、北前船日本遺産推進協議会、みなとの博物館ネットワークフォーラム